

小国地域 稲作だより

No.4

H27.7.2

必達!! 1 等級比率 95% 穂肥～水管理編

◎北陸地方の 1 ヶ月予報 (6/27~7/26)

北陸地方气象台6月25日現在

- ・ 平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。降水量は、平年並または多い確率です。
- ・ 日照時間は、平年並または少なく、気温は週を追うごとに低くなる予報です。

1 現在の生育状況

◎田植え日・ほ場条件によって差はありますが、
全体的に茎数、葉色は指標値以上であり生育過剰になっています。

【こしいぶき】

茎数が指標値を超え生育は過剰傾向にあります。

【コシヒカリ】(6月29日現在。)

梅雨明けが遅れそうです。
稲の生育の進み具合
に注意しましょう!



調査地点	指標値(6/30)	本年平均値	二本柳	原	小栗山	太郎丸	千谷沢
草丈 (cm)	54	50.4	56.5	47.9	52.6	47.3	47.6
茎数 (本/m ²)	480	568.6	595.5	566.1	551.4	549.7	580.4
茎数 (本/株)	26.5	31.3 (60株計算)	36.4	30.8	28.6	32.3	35.5
葉齢	9.4	10.8	11.4	10.2	10.5	10.7	11.0
葉色 (SPAD)	40.0	41.1	44.1	39.5	40.5	41.2	40.4
葉色 (カラースケール)	5.4	5.4	5.6以上	5.1	5.3	5.4	5.3

2 今後の水管理

☆今年は梅雨明けが遅くなる可能性があります。柔らかい田んぼでは水管理に注意しましょう。

- ・ 出穂1か月前までに中干しを終了し、地耐力を維持しながら飽水管理を行いましょう。

飽水管理とは

状態：田面の足跡や溝に水が溜まっている状態を保つ水管理のこと。(土を乾かさない)

やり方：田面の高い部分に水が被る位に水を入れ、自然に減水したら表面が白く乾かないうちに再び入水。

期間：出穂30日後頃まで続けましょう。

- ・ フェーン現象のように気温が急激に上昇する場合には、一時的に湛水し、急激な蒸散による障害を防ぎましょう。



(飽水管理のイメージ)

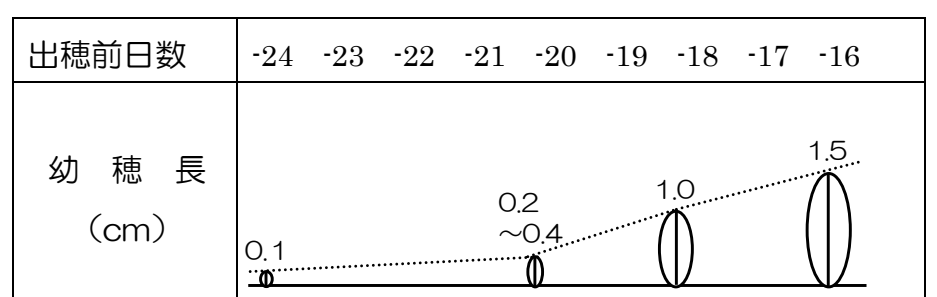
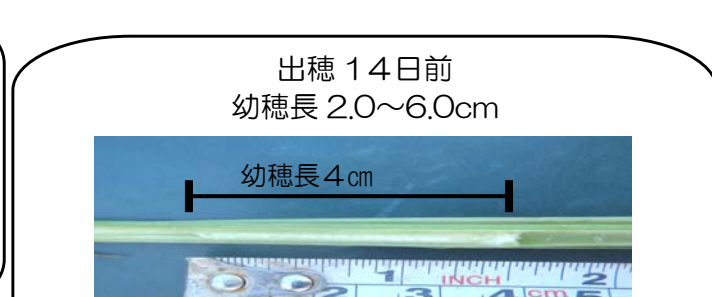
3 適切な穂肥の実施 ~穂肥時期と量の目安~

品 種	田植基準日	出穂期予想	1 回目穂肥 (出穂前日数)	2 回目穂肥 (出穂前日数)	使用肥料(例)	肥料ごとの 10a 当たり穂肥施用量
こしいぶき	5月8日	7月26~27日	7月3日 (23日前)	7月12日 (14日前)	穂肥 520 号	1 回目：10kg、2 回目：10kg
			6月30日 (26日前)	7月9日 (17日前)	たんぼのみり	1 回目：12kg、2 回目：13kg ※2 回合計で窒素成分量 3kg とする。

☆茎数が多い場合は、一回目の穂肥量を減らしましょう。(例) 穂肥520：8kg (窒素成分量1.2kg)

- ・ 「たんぼのみり」など有機質を含む肥料は効果発現に時間がかかりますので「穂肥520号」より3日程度早く施用してください。
- ・ 特別栽培米では化学窒素量の上限がこしいぶき：3.5kg、コシヒカリ：3kgです。上限を超えないよう、化学窒素入りの穂肥の散布量に注意しましょう。

(1) 穂肥時期の目安 → 幼穂を確認して確かめましょう。平均的な生育の株を選び、ほ場ごとに確認をしましょう。



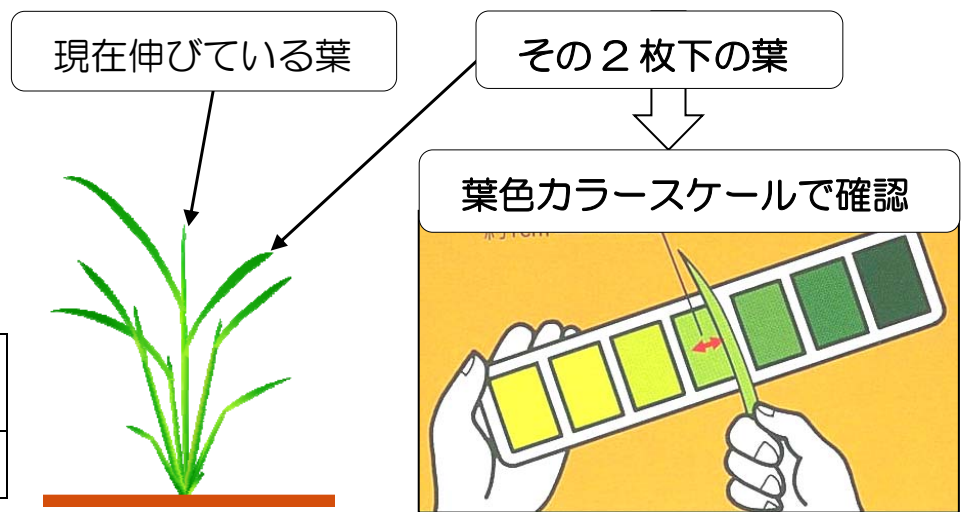
(2) 散布量の判断 (葉色の確認)

◎測定方法

- ほ場内の生育の中庸な場所を選び、太陽を背にして、右図を参考に葉色カースケールで測定しましょう。(風の無い曇天が測定しやすい)

◎こしいぶき1回目の穂肥の稲姿の目安

時期	幼穂長 (cm)	草丈 (cm)	葉色 (葉色板)	葉色 (SPAD)
出穂23日前	0.1~0.2	58	5	35



(注1) 草丈、葉色の数値が上表より大きい場合は、1回目の穂肥量を控えめにしましょう。

(注2) 1回目の穂肥の前に葉色が葉色カースケールで4以下に低下した場合は、穂肥施用の時期を早めましょう。

【基肥一発肥料の場合】

- 必ず1回目穂肥時期に稲姿を確認し、目安以下の葉色にさめた場合は、2回目の穂肥時期に追肥してください。

4 病虫害対策

カメムシ対策のポイント

- カメムシは雑草の種子を好むため雑草が結実しない間隔で畔の草刈りをし、水稻出穂後も継続して草刈りしましょう。
- 薬剤防除の効果が上がるように、防除時には雑草が短い状態にしましょう。



(いもち病の病斑)

◎薬剤使用例 (H27.6.10現在登録情報)

対象病虫害	薬剤名	成分数	使用量(10a)	散布時の水位	散布適期	使用時期	使用回数
いもち病	イモチエース粒剤	1	3kg	3~5cm	出穂20~10日前	収穫35日前まで	1回
	ブラシン粉剤DL	2	3~4kg	-	出穂期	収穫7日前まで	2回以内
紋枯病	リンバー粒剤	1	3~4kg	3~5cm	出穂30~10日前	収穫30日前まで	2回以内
稲こうじ病	撒粉ボルドー粉剤DL※注	0	3~4kg	-	出穂20~10日前	出穂10日前まで	-
カメムシ類	スタークル粒剤	1	3kg	3~5cm	出穂~穂揃い期	収穫7日前まで	3回以内

※注 使用時期は「出穂10日前まで」です。生育が早まることがあるので、散布適期内で早めに散布してください。

- 粒剤の散布にあたっては湛水状態で均一に散布し、散布後5日間は落水、かけ流しはしないでください。

☆穂肥指導会のお知らせ☆

下記の日程でコシヒカリを中心とした穂肥指導会を行います。稲作農家全員のご参加をお待ちしております。

開催月日	7月10日					
開催時間	午前8:00	午前9:45	午前11:30	午後1:00	午後4:00	午後6:00
開催会場	七日町Aコープ	せせらぎ公園前	自然の家やまびこ	上小国支店	三桶駐車場	小国カントリーエレベーター

~農薬の安全使用を徹底しましょう~

1. 農薬を使用するときは、農薬使用基準に基づき、使用者の責任において使用する。
2. 防除前に、器具の洗浄、清掃が十分であるか確認してから使用する。
3. 農薬の散布にあたっては、飛散しないように風向きなどに細心の注意を払う。
4. 農薬の調整時や散布時には、手袋やマスク、長袖などを着用し、薬剤が直接触れないようにする。

【お問い合わせ先】

小国支店	95-2001
上小国支店	95-3100
本店 営農指導課	0257-21-2095
長岡地域普及センター	
小千谷分室	83-0821

柏崎農業協同組合